

建築用遮熱塗料

施工販売10万㎡突破

節電対策で提案強化

NIPPO

NIPPOは、建築用高性能遮熱塗料「ミラクール」の提案活動を一段と強化する。近赤外線反射率と熱放射率が高く、屋内温度を最大10度、冷房費を同40%それぞれ低減する効果がある。08年から試験的に市場に投入し、11年9月から本格販売しており、このほど国内外の施工・販売実績が10万平方メートルを突破。海外では日系メーカーの工場1カ所に4万平方メートルの規模で採用された実績もある。節電対策技術としての性能と採用実績を広くPRしていく。

ミラクールは、遮熱顔料と中空セラミック微粒の近赤外線部分的に反射する。放射率が

りにくい。屋根に採用した場合、屋内の温度を低減でき、冷房費の削減に加えて、作業環境の改善、物品の鮮度や品質の確保に役立つ。太陽光発電の発電効率を高める効果もある。弱溶剤系、水系な

ミラクルの技術は、同社の遮熱性舗装「パーフェクトクール」に採用しており、その施工実績は近く30万平方メートルを超え

ど材料の種類が豊富。複数のカラーパターンがある。

ミラクルは、同社の関係会社が施工・販売している。工場や倉庫など建築物の屋根を主体に採用が増えており、国内は4月末までに18件・約1万5300平方メートル、海外は09～11年にかけて10件・8万9000平方メートルを施工・販売した実績がある。国内では、工場や倉庫の折板屋根のほか、配管、車両コンテナ、温度が上昇した際に散水が必要なタンクなどから引き

合いがある。

海外では、中国やインドネシアでは1万平方メートル以上の規模で採用される事例が目立ってきており、NIPPOは、日射対策が必要な東南アジアをはじめ、海外進出に意欲的な日系メーカーに対する営業活動を積極的に行う考え。舗装や外構工事の受注活動の中でもミラクルを提案する。国内では、電力不足を背景に節電対策に力を入れる企業が多い。ミラクルの性能確認に協力が得られるケースもあり、旺盛な節電需要を追い風に、用途のさらなる拡大を目指す。



ミラクルの施工